

「ボランティアフェア2013」

開催迫る

生涯学習ボランティアセンターの登録者の活動内容を紹介する「ボランティアフェア」が今年も11月22日から、左記のとおり実施されます。

● 期間 11月22日（金）～12月1日（日）

- 場所 生涯学習センター
- ＊展示 一階 アトリウムガーデン
- ＊体験 一階 エントランスホール
- 二階 ラウンジ

展示コーナーは、「出前理科教室」や「円空彫」など20人の個人・団体が多彩な活動・作品を紹介します。また、二階調査・資料室前のラウンジでは体験コーナーを設けます。



1階 エントランスホールの展示

体験コーナーの予定

1階エントランスホール

11月23日	10:00～	「パズルで文字あそび」
24日	10:00～	「1コインのフラワーアレンジ体験教室」
30日	10:00～	「はぎれdeカメラアブローチ」
12月1日	10:00～	「紙ひもを使ってお花をいける」

2階ラウンジ

24日	13:30～	「健康セミナー」
30日	13:30～	「簡単手縫い タオル帽子」



昨年の体験コーナー

★生涯学習センターボランティア募集★

千葉市生涯学習センターでは、様々な分野で活動していただけるボランティアを求めています。関心のある方は是非登録をお願いいたします。

…÷÷…÷÷…÷÷…÷÷…÷÷…
◆ボランティアセンターに登録後、活動状況など登録内容に変更があった場合は、円滑運営のため速やかにセンターにご連絡をよろしくお願い致します。

ちば生涯学習ボランティアセンター

千葉市中央区弁天3丁目7番7号
TEL 043-207-5815
FAX 043-207-5817
Mail volunteer@chiba-gakushu.jp

■ボランティア要請をお考えなら■

ボランティアセンターでは、グループで活動の方々のお話を伺い、ボランティアの講師・人材をご紹介します。お気軽にご連絡を頂ければと思います。

情報紙編集のお手伝いを・・・！！

新しい情報紙「ボランティアタイム」も発刊から一年が過ぎました。登録ボランティアの情報交換の場だけでなく利用者への情報提供の場にもしたい思いで編集担当が協力し合ってきました。この間、イラストや写真の提供、取材等で多くのボランティアの方のご協力をいただき感謝しております。私たち編集担当は、紙面づくりに、より多くのボランティアが参加してほしい、また、たくさんの方が情報発信の場として活用してほしいと思っています。紙面づくりのアイデアの提供やイラスト・写真の協力、活動の記事や提言など、多くの方が積極的にかかわって頂ければ幸いです。

※お手伝いくださる方はセンターまで電話等でご連絡ください。

≪編集後記≫

今号にて発刊一周年を迎えることが出来ました。読者をはじめ関係する皆様のご支援のお陰と感謝しています。毎号生みの苦しみはありますが、勉強になることも多く編集メンバー・事務局一丸となつて紙面づくりに励んでいます。



本紙はボランティアの「出会いと憩いの場」です。皆さんの気軽な情報発信をお待ちしています。御協力を歓迎します。

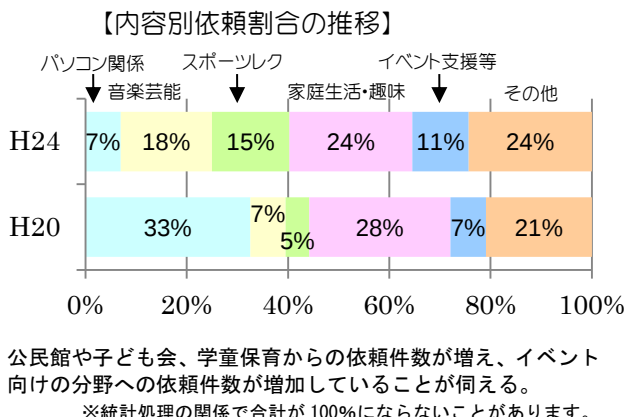
ボランティアタイム

平成25年11月1日発行
第4号（年3回発行）

【編集・発行】
ちば生涯学習
ボランティアセンター

ボランティア活動の実情

この数年、依頼件数の増加や依頼先・依頼内容の多様化に伴って、せっかく依頼を受けてもコーディネートが不成立に終わる事例が増えています。その中には、依頼者側の都合（予定変更や参加者が集まらなかった等）も含まれますが、依頼者側が希望する内容のボ



活動につながるには...

一方、センターに登録したけれど、一度も声がかからない：そんな方は、ご自身の登録内容について見直してみてください。自分をもっとアピールしてみませんか？自分では大した特技ではないと思っていることが、実際は活動に十分な腕前かもしれません。過去に取り組んだこと、趣味や好きなことなど、「これならやれるかも」と思える分野にも登録して、活動につながるチャンスを広げましょう。

まずは相談員に聞いてみよう！

相談員は依頼者側のニーズを常に把握しています。「登録内容が具体的でかつ幅広い方は成立につながりやすい」のだから。

このボランティアタイムを、自己PRの場として活用してみるのはいかがでしょう？「こんな活動をしている」など、ぜひ情報をお寄せください。

まずはセンターに足を運んで、気軽に相談員と話してみませんか。

活動につながる

- 自分にできることは何か、経歴や趣味、特技などを書き出してみる
- 独りよがりにならない
- 自分を積極的に売り込み自ら発信する
- 活動の幅をひろげてみる
- 迷った時は、センターの相談員に相談してみる

子どもたちやお年寄りと楽しい時間を

～子どもショーや寸劇などイベントを盛り上げるボランティア～



秋の気配を感じ始めた9月の半ば…そろそろクリスマスイベントの準備を始める時期がやってきました。まだ早いと思われるかもしれませんが、私たちは依頼者と打ち合わせをしながら内容を作りこんでいくため、依頼が来る前にある程度素材を準備する必要があります。

私たちは普段、個々に芸能活動をしているのでなかなか集まる時間がとれません。それでも活動が来ているのは、下準備とやりたい！という気持ち、そして笑顔で迎えてくれる依頼先の方々のお蔭です。無理をせず、私たちの出来ることをやれる範囲で長く続けることが大切だと思います。失敗したって笑顔が見られたら成功です。

かなりあ★くらぶ 登録番号 GO6-002



子どもルームで小学生と一緒に手遊び唄で楽しいひと時。絵本の読み聞かせやコンサート、劇など、依頼に応じて対応します。



子ども関連施設でのクリスマスショー



出会いは
市主催の講座

細～く長～く、おつきあい 長期に続くボランティア活動

生涯学習ボランティアセンター登録者の多くは、依頼状況により1回から数回のどちらかと言えば単発的な活動が多いのが実情です。しかし、中には長期にわたって講師活動に取り組んでいる方もいらっしゃいます。今回その中から2つのグループの立ち上げから現在も続けている活動を追ってみました。



出会いは
出前相談

「英字新聞を楽しむ会」



講師の砂田良和先生（K06-002）

講師を受けようと思った動機

英語で何かの役に立ちたいと思い「英作文の添削指導」で登録していたが、どこからも依頼がなく、ボランティアパークで英字新聞を取り上げたところ反響が大きかった。英語を読むというサークルならお手伝いできると思いました。これを機に登録内容を「新聞英語特有の文章表現などの習得をアドバイス」に変更しました。

講師を受けてから現在の心境

日本の新聞とは違った視点から取り上げられている題材を選ぶようにしています。そのコピーを会員の方がファイルしたり、自分なりの辞書を作っているのを見ると大いに刺激を受け頑張らなくてはと思います。理想は会員各自が英字新聞を取って一人ひとりが取り上げるテーマを選び学び合うことです。そのためにも出来る限り続けていこうと思います。

♪取材を終えて♪

公共施設の講座(主催事業)を市政だよりなどでよく見かけますが、講座が終わると学習の継続は難しいのが現状です。このサークルは講座終了後、まさにその場でこの先生、この仲間と会を立ち上げようとしたリーダー(世話役)さんの熱意に脱帽です。住む所や年齢も違うけれど、同じ興味を持つ仲間と助け合いながらコミュニケーションを取っているところがこのサークルの継続に結びついているように思いました。

これは、2008年のボランティアパークで開催された「英字新聞を読む」という講座の受講者が継続学習を希望し、センターのコーディネートにより立ち上げたサークルです。

立ち上げようと思った動機

講座受講者は皆、英語に興味があり目的はそれぞれまちまちだが「英語を学びたい」という共通の思いがありました。講座終了後、砂田先生にもっと学びたいという有志が先生を囲みコーディネーターも含め話し合いが持たれたのがそもそもの始まりです。学ぶ目的、会場探し、テキストのレベルなど一人ひとりが情報収集して話し合いを重ね、約1ヶ月後には「英字新聞を楽しむ会」として会員4名でスタートしました。



会員数；男性7名 女性4名

会員の感想

- ◆先生が選ぶ記事がとても印象深く面白い。
- ◆辞書に載っていない言葉があるのでインターネットで調べるなど予習は欠かせないが毎回新しい発見がある。
- ◆英字新聞を通して世界の動きを知ることができる。
- ◆先生の話題がとても豊富で訳しながら話がどんどん広がっていく。そのコミュニケーションを楽しんでいる。
- ◆定年後も世界にアンテナを張っていると思える。

「健寿会」



講師の城戸崎亜矢子先生（K10-031）

講師を受けようと思った動機

常々、自分のできるヨガを通して高齢者や障害のある方の役に立てたらいいなと思っていました。自治会の高齢者のためにというお話をいただき、体操で体を動かすことによって寝たきりにならず前向きに過ごせるお手伝いができれば…と思いお受けしました。自分の知っている場所だけでなく、自分の方から出向いて行きたいという思いとも一致しました。

講師を受けてから現在の心境

最初はお互い緊張していましたが、少しずつコミュニケーションが取れるようになったら心が通じ合い、やりやすくなりました。楽しくないと体にもいい影響はないので、無理のない範囲でやってもらっています。楽しむことを一番に考え、歌を歌ったり少しずつ内容を変え自発的に動いてもらえるよう試行錯誤しています。体操を終えた後の爽快感、気持ちの面での解放感を感じてもらえたらうれしいです。皆さんの笑顔を見てこちらも元気をもらっています。

♪取材を終えて♪

体操に参加させていただきました。畳の上に仰向けになり固くなった体を少しずつほぐしていきます。縮こまった筋肉が伸びていく感触に日頃の運動不足を痛感しました。決して無理をしない体操、美味しいお菓子とお茶をしておしゃべり…貴重な情報交換の場にもなっているようです。二人のお子さんの母でもある先生の「身の回りがうまくいってこそその周りの人にも元氣を与えられる」という言葉が印象的でした。笑顔が素敵な先生です。

このグループは生涯学習センターが地域に出前相談として出向いた際に、自治会の高齢者支援に取り組んでいた役員との間でコーディネートした体操を取り入れた茶話会です。

立ち上げようと思った動機

自治会内の高齢者を家に引きこもらず外に連れ出したいという思いから月1回の茶話会を集会所で開いていました。女性が多い中、男性の参加者を増やしたいと模索していたときに、たまたま区役所で出前相談のチラシを渡されました。そこでボランティアで講師を派遣してくれることを知り、早速相談しました。



世話役の高橋さん



声かけ

前日に団地内の一斉放送で呼び掛けています。男性の参加は少ないですが、他の行事には参加している方も多く無理強いはいしません。放送以外にも直接声かけをして誘うようにしています。



体操の後のお楽しみ…茶話会

参加者の声

- ◆楽しいので続けられる。
- ◆椅子にかけたままでも体操ができる。
- ◆おしゃべりが楽しい。